

各地の話題 蔵王

「故郷の味を知って」 摘み取り園が地元の園児に旬の魅力を提供

2026年8月14日号掲載



約4万坪の農地に60種類2万本以上のブルーベリーが栽培されている蔵王町の「蔵王ブルーベリーファーム」。ここでは、甘味や酸味、大きさの異なるブルーベリーが農薬不使用で育てられている。自家製の加工品を販売するほか、7月初旬から8月中旬までの摘み取り体験も人気だ。

同園では「ブルーベリーの旬を知ってもらい、町にこんなにおいしい食べ物があるということを知ってもらい、いずれ故郷を思い出すきっかけになれば」との思いから、昨年からの認定こども園と幼稚園の園児を摘み取り体験に招待している。今年の招待は7月10日で、瑞々しく甘いブルーベリーを口いっぱいほおぼる園児のとびきりの笑顔にあふれていた。

ファーム内のレストハウスではブルーベリーを使用したスイーツなども好評だ。園児たちも体験後に果汁100%のジュースをいただき、その魅力を存分に楽しんだ。

摘み取り期間中は無休。摘み取り時期の確認はファームHPまで

【記事提供】 蔵王町農業委員会

ブルーベリーを摘む園児



ジュース等を販売する売店がある園内施設

